カトリック二俣川教会
教会だより

二十六聖人

２０２３年 3月号
No. 356（２０２３年２月 26 日 発行）

カトリック二俣川教会　TEL 045-391-6296
http://www.futamatagawa-cc.com/
主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

巻頭言：イエス様に仕えられた聖ヨセフ

特に寒い冬でしたが、時はもう三月。この三月には二つの大事な祭日がありますが、それは、マリアがイエス様のお生まれのお告げを受けたことを記念する「神のお告げ」の祭日と、「聖ヨセフ」の祭日です。二人とも自分たちを神様に委ねて、ただ神様の救いの計画の実現のために自らをささげたでしょう。その奉献によって、マリアはイエス様の母となり、ヨセフはイエス様とマリアの保護者となったわけです。そこで、教会はマリアを教会の母として、また、ヨセフを教会の保護者として敬っているのです。

特にこの三月は「聖ヨセフの月」と言われ、ヨセフの取り次ぎを願いつつ、すべての信者がヨセフの聖徳（せいとく）に倣うことが勧められています。聖書によると、ヨセフは貧しい大工でしたが、正しい人であったそうです。その正しさのあまりに、ヨセフは聖霊によって身ごもったマリアと密かに縁を切ろうとしたでしょう。しかし、ヨセフは夢で神様のみ使いからマリアを受け入れなさいというお告げを受け、自分の考えでなく、神様の計画に全てを任せることにしました。それは一見ヨセフの選択のように見えますが、実は、神様の選択だったでしょう。つまり、ヨセフは自分をお選びになった神様のみ旨を、そのまま受け止めたわけです。でも、それからの彼の人生の道は、そう簡単な道ではなかったはずです。ヨセフはヘロデの残酷な企みから赤ちゃんのイエス様とマリアを守るため、自分の故郷のベツレヘムを離れ、エジプトへ行かなければなりませんでした。そして、ようやく自分の国に戻って来てからも、またイエス様とマリアの保護者として務めなければならなかったのです。そのヨセフの毎日はどれほど辛くて厳しかったでしょう。

しかし、そのヨセフのそばにはいつもイエス様がおられ、彼の力と喜びとなってくださったと思います。聖書にも書いてありますが、イエス様はマリアとヨセフに仕えて暮らしながら、知恵が増し、背丈が伸び、神様と人とに愛されました。イエス様はその二人に

仕えることによって、神様と人とに仕えることを学び、そのメシアとしての道を歩み始められたのです。それは何と素晴らしいことでしょうか。神様の独り子であるイエス様に仕えられることとは。マリアはイエス様の受胎のお告げを聞き、それを素直に受け止めたし、ヨセフも自分に向かう神様のお選びに従いました。そこで、神様はその二人にイエス様を仕えさせ、彼らを支え、また、守ってくださったでしょう。そう考えてみたらわたしたちは、神様のみ旨に従うことによって、むしろ、神様にもっと豊かに恵まれるようになることが分かります。

特に、イエス様とマリアの保護者としてのヨセフの人生は、外見的にはとても辛く見えるかもしれませんが、神様への従順によって彼はいのちの主に仕えられるという大きな恵みをいただいた幸せな人生だったと思います。イエス様は神様に忠実だったヨセフに仕えながら、彼と共に働いてくださり、そのすべての働きを完成してくださったのです。確かにヨセフは、この複雑な現実の中で信仰の道を歩んでいるわたしたちにとって、とても特別なしるしに違いないと思います。これからもわたしたちが、ヨセフの信仰に倣って神様に仕え、それによって神様が共に働いてくださる恵みをいただくことができるよう、お祈りいたします。

主任司祭　ヤコブ　姜　真求

2023 年 2 月 教会委員会報告

【神父様のお話】

３月の信徒集会で、教会委員を交代する方もいます。交代されてからも教会の為に働き、務める事を期待します。今日の福音で世の光、地の塩というみ言葉があります。地の塩は長い時間かかって日に照らされ土に浸み込み出来た塩ですが、人はそれを糧とし生きるために大切なものです。私たちは土の下に浸み込んだ塩の様な存在です。その塩を、大切に神様が使って下さいます。

神様の愛と慈しみをいただき、神様の為の塩となり、世の中で、そして教会で働き、務める事を願います。

【今月の検討項目】

１．　信徒集会(3 月 12 日開催)に関して

・信徒集会参加者は制限を設けません。
但し、地区世話人へは代理出席も含め参加要請を行います。

・意見募集「これからの教会について」は、記名・無記名・方法等を次月の検討課題とします。

２．復活祭以後のコロナ対策の緩和について

・ミサの地区割を止めます。ミサ時間を日曜日（7 時/10 時）、土曜日（17 時）に変更します。
・集いでの飲食は、復活祭を待たずに黙食を条件に許可します。（但し、アルコール類は禁止）
・集会室使用に関して、外部団体の集会室使用は次月検討課題とし、昼間使用の「ルドビコ」は使用可能ですが、夜間使用の「YGG（横浜グレゴリアングループ）」は換気による音漏れの為、当面使用不可とします。
・売店が再開できるように準備します。

・これらを実施するための、感染対策ガイドラインを教会委員会から提示します。

◇神父様より

活動を再開する事を考えての準備が必要です。また、他の人への配慮と思いやりを考え行動する事が肝要であり、3月の教会委員会でガイドラインを提案し、検討を行って下さい。

3．カトリック二俣川教会昇降機（エレベーター）改修工事に関する申請を教区へ行います。

4．日本二十六聖人委員会
担当のO.氏より「ノベナの祈り」「日本二十六聖人行列」「日本二十六聖人委員会紹介」への協力に対して感謝と4名のメンバーの拡充を図る必要性の発言がありました。

5．教会小冊子製作
二俣川教会紹介小冊子（案）が回覧されました。

6．視覚障がい者の為の施策
視覚障がい者用の「聖書と典礼」を社会福祉法人ぶどうの木「ロゴス点字図書館」へ、2月分より1名分手配を行い、2月4日（土）のミサより使用出来ました。

7．　事務所
2月25日（土）は、水上健次神父様の初ミサです。お祝い金と花束を準備します。

8．　各会報告

●典礼

・2月22日（水）灰の水曜日

ミサ 10：00　この日に来られない方で灰を受ける事を望まれる方は、26 日（日）までに司祭に申し出て下さい。

・2月24日（金）から毎週金曜日9：20より十字架の道行きが行われます。但し、4月7日（聖金曜日）は14：00から行われます。

・ミサで使用する聖週間の典礼「聖なる三日間」の新しい冊子を用意しました。

・聖週間のミサ詳細については、3月の教会委員会にてお知らせします。

・新しいキリアーレ（賛歌）をミサに与る人が歌えるよう聖歌隊で練習を開始しました。

●教会学校

・2月26日から初聖体の勉強会を予定するが、現時点で申し込みはありません。

・2月19日　10：00～教会学校

小中高生クラスは「日本二十六聖人」をテーマとします。

●キリスト教講座

・2月25日（土）水上神父様ご指導による黙想会を行います。

・2月26日（日）二俣川教会にて合同入信志願式に求道者を送る典礼を行い、当日藤沢教会にて横浜教区合同入信志願式が行われます。

●財務

・2022年度決算報告書作成作業中、2021年度比較で収入では、月定献金/建設・修繕積立金が減じ、支出では水道光熱費の増が顕著です

●福祉

年末福祉献金先から礼状が届いていますので、教会誌「二十六聖人」で紹介します。

●建物

・オルガニスト要望により、オルガン横の窓1か所に遮光用ロールスクリーンを取り付けました。

●ヨゼフ会

「コーヒー光」1月8日（日）、2月5日（日）に実施。次回は2月26日（日）を予定します。

●マリア会

・1月29日（日）11時ミサ後に、聖堂にてマリア会総会を開催しました。出席者は24名でした。

・2月5日（日）11時ミサ後に、前庭にてボリビア支援グループのジャム対面販売を実施しました。

●青年会

・青年会定例会の報告がなされました。

・韓国を訪問する計画があります。詳細を検討し、後日報告します。
・2023 年計画表にはありませんが、「わかちあいたいかい」を計画します。
●インターファミリー
・1 月 22 日（日）12：00～インターファミリーミーテングを実施し「本年度活動について」と「教会基本方針について」を共有しました。次回は 2 月 26 日（日）を予定しています。

●第三地区委員会
・1 月 15 日（日）共同宣教司牧委員会（於：港南教会）が小教区司祭、教会委員長、三部門担当、各会担当者、出席の下に開催され、第三地区の各小教区より、自粛していた活動の再開準備の報告がなされました。
●一粒会
・1 月 22 日（日）に献金対応行い、その後「活動計画」「シノドスについて」を分かち合いました。

以上

二俣川教会 2023 年四旬節の典礼

●灰の水曜日：2 月 22 日（水）　この日より四旬節が始まりました。

●黙想会：　2 月 25 日（土）　保土ヶ谷教会・水上健次神父様のご指導をいただきました。17 時からのごミサは水上神父様の当教会での初ミサでした。

●受難の主日：4 月 2 日（日）　枝の主日
●聖木曜日：　4 月 6 日（木）　主の晩餐　ごミサは 19 時からです。
●聖金曜日：　4 月 7 日（金）　主の受難　十字架の道行きは 14 時から、祭儀は 19 時からです。
●聖土曜日：　4 月 8 日（土）　復活の聖なる徹夜祭
ごミサは 19 時からです。
（ミサ中に洗礼式があります。）
●復活の主日：4 月 9 日（日）　日中のミサ

「ありのままの自分でキリストと出会う」
～入門講座担当者養成コースを終えて～

この度私たちは、カトリックの受洗を望む方々の入門講座を担当する「**カトリック入門講座担当者養成コース**」に参加し、久我純彦神父様と数名のリーダーのもと 13 人の仲間とともに全 22 回の講座を修了しました。講座が行われた「恵みの家」は聖母の園の広い敷地の中にあり、美しい聖堂（カトリック原宿教会）をはじめ、四季折々に花が咲く自然豊かな心地よい場所です。散策を楽しむ人、ルルドの聖母マリア様の前で祈る人、保育園の子ども達の元気な声が響く場所への訪問は、日常を離れて出掛ける小さな遠足のようで楽しみでした。

このコースで、聖書やカトリックの秘跡を学ぶ前に、まず**「ありのままの自分を知る」**ため、全講座の半分をその時間に費やしたことが新鮮な驚きでした。**「ありのままの自分をみせることで、聖霊が働くのですよ。ありのままの自分でキリストに出会ってください。」**と何度もおっしゃった久我神父様の言葉が忘れられません。

修了証を頂いたミサの中で、姜神父様はキリスト者のあるべき姿をおっしゃいました。**「私たち信仰者は、キリストであるイエス様から学んだことを誠実に悟り、悟ったことを教え、教えたことを実行する、それが私たちの生き方です。そのイエス様から学ぶことはたったひとつ、それは『愛』です。」**

この言葉を胸に刻み、養成コースで体験したことを糧として、求道者の方の同伴者として共にキリストの道を歩んで行けたらと思っています。

セシリア　I. N.
マリア・アレキサンドラ　N. Y.

＊＊

『音読巻頭言』のご紹介♪

昨年から毎月、青年と何人かの中高生は姜神父様が書いてくださる「二十六聖人」の巻頭言を“音読”しています！はじまりは、昨年4月号の巻頭言でした。『架上七言』という、イエス様が十字架上で残された7つの言葉を紹介して解説してくださったものでした。大変感銘を受け、ぜひこれを四旬節に一人でも多くの方に読んでもらいたいし、読めない人には聴いてもらいたい。そんな思いから始まりました。4月号の『架上七言』、5月号の『聖母七苦』は音声だけでなく写真を取り入れて動画を作成することができました。今もYouTubeで視聴することができます。

右の四角いバーコードのようなもの(＝QRコード)を、スマートフォンのカメラを通して見て、現れた黄色い文字をタッチすると、簡単にYouTube(ユーチューブ)を見ることができます。

架上七言　　聖母七苦

今は、姜神父様が毎月訪問されているご高齢の方に聴いていただいたりしています。今後、教会ホームページからどなたでも聴けるようにしていきたいと思っています。一生懸命に読んだ、味のある、二俣川教会の若者たちの音読です。ぜひお楽しみください。

青年会

2月5日『日本二十六聖人殉教者の祝日』を祝って

～取り組み紹介と皆様の声～

昨年の秋に発足した、二十六聖人委員会（※1）の企画で、2月5日の祝日に向けた霊的な準備のために、1月28日から「ノベナ（9日間）の祈り」を行いました。それは、9日間続けて毎日夜9時(原則)に祈るもので、その日の意向に沿った日本二十六聖人に起きた出来事を読み、主の祈り、アヴェマリアの祈り、栄唱、二十六聖人の祈りを捧げました。このように、2月5日になってから初めて祝日を思い起こして祈るだけではなく、日々の中で少しずつ準備して祝日を迎えましょう！というものでした。「初めてのことでしたが、とても良かったです」という声が聞こえてきました。祈りの輪を作るために、できるだけ同じ時間におこなってくださいとお願いしましたが、どれほど大きな祈りの輪ができたでしょうか。

※1　二十六聖人委員会（二十六聖人を学ぶ機会をもっと！という信徒さんの意見を受けて検討し、2022年の秋に発足。現在メンバー4名。姜神父様とご一緒に多くの“分かち合い”のような会議で検討した3本の柱はこちら。①その生涯と殉教精神を知る、学ぶ　②活かして生きる　③受け継ぎ、受け継ぐ　これらを念頭に、メンバーを引き継ぎながら永続的に活動していく委員会です。

今年はちょうど、記念日である2月5日は日曜日。主日の典礼が優先されます。しかし、日本二十六聖人を守護の聖人に頂いている二俣川教会ですので、ごミサの中で様々な形でお祝いしました。「二十六聖人の行列」では、それぞれの聖人と年齢が近い方(年齢不詳の聖人もいますが)、日本二十六聖人を洗礼名としていただいている方が、それぞれ聖人の名前が書かれたゼッケンを着て、ロウソクを持って入堂しました。何十年も前から形を変えながら行われている行列ですが、姜神父様が主任司祭となられてからは初めての試みでした。行列に参加された皆様からの声をご紹介します。

二十六聖人行列に参加して当時の道行きを思い、改めて二十六聖人の信仰心の深さに触れることが出来た気がします。

長い信者生活、初の体験～聖ヨアキム榊原の足元にも及ばない信仰ですが…その想いと共に行列しました。

なかなか体験する事が出来ない、貴重な時間だったと思います。お恥ずかしいお話しですが、今まで二十六聖人の方々にこんな想いを馳せることはあまりありませんでした。この行列に参加させてもらって、聖人の方々の人柄が分かりましたし、どんな気持ちで当時いたのかとかを私なりに考える事が出来たのは本当に良い時間だったなと思っています。

はじめての二十六聖人で緊張したけど、パウロ茨木としてろうそくを立てることが出来てよかったです！！

コロナでなかなかお会い出来なかった方々と久しぶりにお会い出来、共に行列をすることが出来て嬉しかったです。

自分と同じ年齢の 26 聖人として行列に参加して、26 聖人の一員になったような不思議な気持ちになりました。

委員の皆さまが考えてくださった３点の中で、受け継ぐという言葉が入っていて、とても嬉しかったです。

長年の大河ドラマファンの私は、今回26聖人行列に参加しながら、あの戦国時代を信仰と霊的な強さでまっすぐに生きたキリスト者達にあらためて思いを巡らせました。

いつも青年会のメンバーとしか顔を合わせる機会がないので、普段はあまり接点のない方や初めてお目にかかる方と一緒に特別なミサに与かることが出来、貴重な機会を頂けたなぁと嬉しく感じております。

私は殉教された26人に思いを馳せながら参列しました。ロウソクを持って入堂したとき、日本でのカトリック信者の迫害･殉教という出来事は後世に伝えられるべきであり、人々の心の中に留められるべきであると考えました。

自分の年齢的に近い聖人のろうそく行列を任せて頂いたことで、日々の信仰生活でその方に倣っていきたいと思えました。ミサのなかでお役に立つことができた喜びがありました。委員会からのお話も印象的でした。ここ日本で起きたということ、弾圧はターニングポイントだったことetc…

ドバール神父様が二俣川教会を建堂する時に、日本に根付くように、26聖人を守護の聖人として選ばれました。子どもの頃は、当たり前の事ととらえていました。自分が教会の歴史と共に時を重ねて、その思いにどれだけの深い愛が込められていたのか…今は感謝の気持ちがいっぱいです。

《委員募集中！》18 歳以上。老若男女歓迎します。二十六聖人委員会活動の“三本の柱“に共感して一緒にわかちあいながら、その実現に向けて取り組んでくださる方。是非、教会事務所にお申し出ください。

二十六聖人委員会

聖書１００週間　Ｄクラスを終えて

～ わたしの好きな聖書のみことば ～

旧約聖書から新約聖書まで読み、分かち合う「聖書１００週間」が修了し、２月８日にはごミサの中で修了式がありました。通常３年半のプログラムのはずが、コロナ禍での休みを挟んだため修了まで５年６カ月かかっての長い道のりでした。聖書を味わう中で、各自の心に特に響いたみことばと好きな理由を、紹介してもらいます。

あなたは「自分の力と手の働きでこの富を築いた」などと考えてはならない。

（申命記８/１７）

御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。　（申命記３０/１４）

施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。

（マタイ６/３～４a）

祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。　（マタイ６/６a）

明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。　（マタイ６/３４）

現代を生きる私たちの心にストレートに響いてくる言葉で私の生きる指針となっています。

マルタ　I. K.

＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊

疲れた者、重荷を背負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。

（マタイ１１/２８～３０）

母が亡くなったときに神父様がおっしゃってくださった言葉ですので忘れられません。イエス様の優しさに心打たれます。

マルガリータ・マリア　K. M.

死の陰の谷を行くときも　わたしは災いを恐れない。
あなたがわたしと共にいてくださる。
あなたの鞭、あなたの杖　それがわたしを力づける。

（詩編２３/４）

共にいてくださる神様がいつも支えていただいていることを思い起こさせてもらうみことばです。

マルタ　K. A.

＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊

「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」　（ヨハネ２０/２７b）
「見ないのに信じる人は、幸いである。」

（ヨハネ２０/２９b）

見えない故に現代の人間社会は複雑になってしまうことがあります。人と人との関係も見えないものです。そして信仰も見えないものです。私はこの見えないものを大切に生きていきたいと思っているのでこの言葉が心に残りました。見えるものに振り回されず、見えないものに目と心を向けてそれを大切にしていきたいと思います。

マリア・テレジア　K. A.

「光あれ。」（創世記１/３b）
いつも感動します。そして、聖書の世界へ私を自然に導いて下さいます。

フランシスカ　I. C.

✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱

「渇いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。」

（ヨハネ７/３７～３８）

これを読んだとき、なぜか親近感？が！私の名の癸（みずのと）は清い水の意。この生ける水の貴い意味をすべての人が知っていたら・・・と。

パウラ・マリア・クリスティーナ　K. S.

✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。

（１コリント１３/４～７）

愛の本質について語られていて素晴らしい言葉だと思いました。

マリルカ　T. H.

✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱・✱

神は愛です 。（１ヨハネの手紙 ４/１６b）
愛し、愛される。生きる上で最も大きな課題だと思います。

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

（マタイ１１/２８）

この御言葉は心のやすらぎを授けていただける、この上ない情に溢れた箇所で、墓標にも刻んでもらいました。

パウラ　M. K.

神父様のサインとみことばの入った修了証を手に記念撮影

☆「聖書のみことば」（８～９ページ）内の出典表記について：

1．例えば、マタイ 6/3~4 a　の a は、その節の前半にあるみことばということを表します。
また同様に、ヨハネ 20/27 b　の b は、その節の後半にあるみことばを表します。

2. 新約聖書にはコリントの信徒への手紙やヨハネの手紙など、複数に分かれているものがありますが、それらを略して表す時に、横書きでは　１コリント　のように表記します。

マリア会通信　No.125

　暦の上では立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いております。皆さまいかがお過ごしですか？

　今年は３年ぶりに、1 月 29 日(日)11 時ミサ後、聖堂にてマリア会総会を開催することができました。ミサが地区別になっているため、時間的に都合をつけるのか難しいこともあり、当日の参加者は 24 名でした。当日の式次第とマリア会会則の一部改訂がありましたので、資料をレターケースの上に置いてあります。目を通して頂けましたら幸いです。
皆さまのご協力によりマリア会総会を開催できましたことに感謝申し上げます。

　ステラマリス帽子を編む会からのお知らせです。
「横浜教区ステラマリス」からお礼状が届いております。ロビーに掲示してあります。
帽子を編む会にいつもご協力いただきましてありがとうございます。

マリア会　H. I.

＊＊

トルコ南東部地震救援募金のお願い

カリタスジャパンと横浜教区からの呼びかけに応じて、「トルコ南東部地震救援」募金を呼びかけています。お寄せいただいた募金は、大地震によって壊滅的な状況に陥っているトルコ南東部とシリアでの救援活動に活用されます。

「トルコ南東部地震救援募金」は専用の青い封筒に入れ、献金箱に入れてください。四旬節の間は「四旬節愛の献金」も呼びかけております。また、ウクライナ支援の募金も継続中です。皆様それぞれが、できる範囲でご協力をお願い致します。

教会委員会

＊＊

【編集後記】

聖書 100 週間の記事をはじめ、３月号にはたくさんの原稿をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。教会活動も徐々に再開され、四旬節を迎えるころには、一人ひとりの思いに満ち溢れた誌面をお届けできると思います。みなさまのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

（S. O. 記）